

平成31年2月1日

日南町立日南中学校
保 護 者 様

日南町立日南中学校
校 長 黒 見 隆 久

平成30年度 学校生活アンケートの結果及び分析について（報告）

立春の候、保護者の皆様方におかれましては益々ご健勝のことお慶び申し上げます。

日ごろより、本校の教育活動にご理解とご支援を頂き厚く御礼申し上げます。

さて本校では、学校生活アンケート（生徒・保護者）の結果から、学力向上や生活習慣等の課題に対する取り組みを検証しています。

つきましては、日南中学校の状況を以下の通りまとめました。教師が学校生活の実際を把握するのと同時に、指導のポイントや工夫改善すべきところを自己チェックし、生徒や保護者の皆様にも成果や課題の振り返りにしてほしいと考えています。

また、学校全体の継続的な課題、学力向上に向けた取り組みの必要性をご理解いただき、各ご家庭でも家庭学習等への声かけやご支援を頂きますよう、よろしくお願いいたします。

2学期の保護者アンケートの回収率は非常に高いものでした。
ご協力をいただき、ありがとうございました。

- ◎・・・肯定的評価が90%以上の項目
 ○・・・肯定的評価が80%以上90%未満の項目
 □・・・肯定的評価が60%以下の項目
 △・・・肯定的評価が30%以下の項目

↑・・・5%以上、↑↑・・・10%以上
 ↓・・・5%以下、↓↓・・・10%以下

学校生活・学習面について		H30年度			
		1学期	2学期		
1	あなたは、学校で楽しくすごせていますか。	94.3%	97.2%	◎	
2	あなたは、授業を積極的に集中して受けていますか。	97.2%	97.3%	◎	
3	あなたは、授業中に学習している内容が理解できていますか。	94.3%	93.1%	◎	
7	普段(テスト前ではないときの月～金曜日)、家庭学習を始める時間				
	7時～8時	26.6%	24.3%		
	8時～9時	46.8%	30.0%		↓↓
	9時以降	15.7%	32.8%		↑↑
8	次の学習活動は、自分の学力の向上に役立っていると思いますか。				
	①朝の読書	88.6%	90.4%	◎	↑
	②教え合いのペアリング	92.9%	88.9%		
	③パワーアップタイム	98.6%	98.6%	◎	
	④ロングパワーアップタイム	97.1%	97.3%	◎	
	⑤テストの間違い直し	96.0%	100%	◎	
	⑥ipadや電子黒板を使った授業	86.7%	79.5%		↓
13	ともいき科の学習				
	お互いの考えを伝え合い、わかり合うことが増えた。	77.1%	81.9%		
	自分の知っていることや考えを上手に説明することが出来るようになった	54.3%	61.1%		↑
	いつも話す友だち以外の人と協力して活動しようとした	65.7%	61.1%		
	活動をより良いものにしようと工夫することができた	71.4%	70.8%		

「学校が楽しい」と肯定的評価をしている生徒が、1学期より高くなり97%を超えている。「授業を積極的に集中して受けている」「学習している内容が理解できている」と答えた生徒も90%を超えている。

家庭学習を始める時間が、9時以降の生徒が増えているが、中には11時以降から始める生徒も(1, 2年)7%近くいるので、生活時間の見直しが必要な生徒もいる。一昨年度から力を入れて取り組んでいるPT、LPT等に対する肯定的評価が97%近くあり取り組みが定着しつつあるので、今後も継続的に取り組んでいきたいと思う。

また、ともいき科のねらいである「お互いの考えを伝え合い、わかり合う」「自分の知っていることや考えを上手に説明することができる」などの肯定的評価が上がっている。また、「人と協力して活動する」などの肯定的評価は、学年が上がるごとに増加していることより、文化祭などの学校行事などを通して生徒にともいき科の学習の成果が現れてきているように思われる。

家 庭 学 習		H30年度			
		1学期	2学期		
9	普段(テスト前ではないとき)の家庭学習の時間は				
	平日 1時間未満	47.2%	45.8%		
	1時間～2時間未満	40.0%	37.5%		
	2時間以上	12.8%	16.8%		
	土・日・休日 1時間未満	35.7%	29.2%		↓
	1時間～2時間未満	30.0%	38.9%		↑
	2時間以上	34.3%	32.0%		
10	家庭学習をする時間は、全国の同年代が行う時間と比べて 自分が多いか。同じくらい	5.7%	16.4%	△	↑ ↑

家庭学習が1時間未満の生徒が1学期より減少している。その反面1、2年生は、半分かくらいの生徒が家庭学習が1時間未満であった。今後も継続的に指導して2時間以上の生徒が増加するように継続的にPTプリントなどの課題を中心に家庭学習の仕方を指導し、指導していきたい。また、休日は、3年生の半分以上の生徒が平日2時間以上、休日3時間以上の家庭学習を行っている生徒が増えているので、更に時間を増やしていけるように、指導していきたい。1学期は、ほとんどの生徒が全国の同年代の家庭学習時間より少ないと答えていたが、「自分が多いか、同じくらい」と答える生徒が増加したことから、生徒の意識が少しずつ前向きになっているように思う。

生活習慣・あいさつ・日南町とのつながりに関して		H30年度			
		1学期	2学期		
19	家庭での過ごし方について				
	①自分で決めた就寝時間に寝ている	58.6%	62.5%		
	②自分で決めた起床時間に起きている	71.4%	66.7%		
	③朝食を毎日食べている	88.6%	94.4%	◎	↑
17	バスの運転手さんや登下校時のボランティアさん、先生等に対し、礼儀正しく聞こえる声で「おはようございます」とあいさつをしたり、降りるときに「ありがとうございました」と言っている。	95.7%	93.1%	◎	
18	学校内でお客さんに会ったとき、「おはようございます」「こんにちは」等と礼儀正しくあいさつをしている。	95.7%	95.3%	◎	
15	日南町とのつながりについて				
	①将来も日南町に住みたい。(一時的に町外へ出るかもしれない場合も含む)	27.1%	24.7%	△	
	②町外になる可能性は高いが、常に気にかけ、何かの形で貢献したいと思う。	27.1%	27.4%	△	

「朝食を毎日食べている」の項目では、1学期は学年によっては20%以上の生徒が「あまりできていない」と答えていたが、2学期は全体的に数値が上がっているので引き続き指導していきたい。あいさつについても、行っている意識は高い。特に学年が上がるにつれて意識が高くなっている。反面、声が小さいので相手に届いていないこともあるので、場に応じたふさわしいあいさつにはまだ課題が残る。

日南中学校 H30年度 学校生活アンケート(保護者)回収率91.4%

平成30年度 2学期終わり

↑・・・5%以上、↑↑・・・10%以上
↓・・・5%以下、↓↓・・・10%以下

I 学校運営について		H30年度			
		肯定的評価			
		1学期	2学期		
◎・・・肯定的評価が90%以上の項目 ○・・・肯定的評価が80%以上90%未満の項目 □・・・肯定的評価が60%以下の項目 △・・・肯定的評価が30%以下の項目					
1	学校は、教育目標や教育方針をわかりやすく伝えている。	71.2%	84.4%	○	↑↑
2	学校は、保護者や地域の願いや思いに応えた教育活動を行っている。	63.2%	71.9%		↑
3	学校は、保育園、小学校、中学校の連携を深める保小中一貫教育を進めている。	50.8%	54.7%	□	
4	学校は、子どもの様子を的確にとらえ、円滑な仲間づくりを進める努力をしている。	66.1%	81.0%	○	↑↑
5	学校は、子どもの自主性、積極性、創造性を育てる教育活動を行っている。	74.6%	81.3%	○	↑
6	学校は、子どもの学力を高める授業や課題の工夫、学習支援を行っている。	69.5%	69.9%		
7	学校は、子どもの体力向上や協調性、自主性を育てる部活動の運営を行っている。	70.7%	84.3%	○	↑↑
8	学校は、たより、HP、授業参観等による積極的な情報提供を行っている。	77.6%	84.4%	○	↑

すべての項目について、肯定的な評価の数値があがっている。特に、1「学校は教育目標や教育方針をわかりやすく伝えている。」、4「学校は、子どもの様子を的確にとらえ、円滑な仲間づくりを進める努力をしている」、7「学校は子どもの体力向上や協調性、自主性を育てる部活動の運営を行っている」の項目においては10%以上評価が上がっている。保護者からの自由記述の中にも、中学生が積極的に取り組んでいる「ふる里まつりの関わりや地域への関わりについて実を結んできた」と肯定的な記述もあった。しかし「保育園、小学校、中学校の連携を深める保小中一貫教育を進めている。」については1学期より肯定的評価が上がっているが、約55%と数値が低いので、引き続き学校だより、HP等で学校の様子や取り組みを発信し更に情報提供に努めていきたいと思う。また、「子どもの学力を高める授業や課題の工夫、学習支援を行っている。」の肯定的評価は、学年によってばらつきがあることより、力を入れて取り組んでいるPT、LPT等の放課後の課題学習を更に充実させていき、今後も継続的学力向上に向けて取り組んでいきたいと思う。

Ⅱ 子ども（生徒）の姿に関して		H30年度		
		肯定的回答		
		1学期	2学期	
1	子どもは、学校生活が楽しいと言っている。	86.2%	81.2%	○ ↓
2	子どもは、楽しく話したり、遊んだりする友達がいる。	98.3%	95.3%	◎
3	子どもは、他人を思いやったり、親切にしたりすることができる。	94.8%	90.7%	◎
4	子どもは、自分の思いや考えを相手にきちんと伝えることができる。	58.6%	67.2%	↑
5	子どもは、相手に伝わるように、場に応じたあいさつや言葉づかいができる。	79.3%	80.9%	○
6	子どもは、基本的な生活習慣（早寝早起き、朝食、歯みがき等）が身についている。	84.2%	79.7%	
7	子どもは、自分のことは自分でする自覚やよりよい生活リズムが工夫できる。	70.2%	70.3%	
8	子どもは、集団生活に必要な約束やルールを守って生活している。	94.6%	93.6%	◎
9	子どもは、毎日放課後パワーアップタイム（課題プリント）を行っていることを知っている。	82.8%	82.8%	○
10	子どもは、宿題や学校からの学習課題を忘れずにやっている。	84.5%	77.4%	↓
11	子どもは、学校（授業）の準備や提出物を忘れずにやっている。	84.7%	82.3%	○
12	子どもは、定期テスト前にアフタースクール（放課後補習）を行っていることを知っている。	86.2%	79.7%	↓
13	子どもは、自主的、計画的に家庭学習を行っている。	68.9%	60.3%	↓
14	子どもは、昨年度より家庭学習に取り組む時間が増えた。	58.6%	65.1%	↑
15	子どもは、地域の行事や活動に積極的に参加している。	77.5%	73.4%	
16	子どもは、家庭で、学校のことや自分のことなどをよく話している。	72.4%	62.5%	↓

1学期に比べ「子どもは、学校生活が楽しいと言っている。」の肯定的評価が80%以上ではあるが5%下がっている。その反面、生徒自身への質問事項の「学校で楽しく過ごしている。」では肯定的評価が97%と1学期より高くなっている。生徒は、2学期には体育祭・文化祭などの行事の成功を通して感動の共有や一体感を味わっていることなどから肯定的な評価が上がっていると考えられる。「自分の思いや考えを相手にきちんと伝えることができる。」の肯定的評価が全体の中では低い、1学期に比べて8%上がっているのは、ともいき科の学習を中心に自分の思いを相手に伝えることができるような取り組みが増えた結果であると思う。

課題である家庭学習の時間については、昨年度より家庭学習に取り組む時間が上がっている傾向が見られたが、家庭学習に取り組む時間はまだまだ少ないので、今後もPT、LPT等の課題学習と関連させながら指導を続けていきたい。

Ⅲ 保護者自身・PTAに関して		H30年度		
		肯定的評価		
		1学期	2学期	
1	学校、学年、学級の教育目標や教育方針を理解している	65.5%	64.1%	
2	学校、学年、学級に家庭での子どもの様子や保護者の願いや思いを伝えている。	58.6%	57.8%	□
3	学校だより、学級だより等、学校からの配布物を読んでいる。	87.9%	86.0%	○
4	学校HPはみている。	24.2%	31.2%	□ ↑
5	授業参観、学年懇談、PTA行事(活動)に積極的に参加している。	71.2%	76.6%	↑
6	PTAの「減メディアデー」の取り組みを知っている。	62.1%	61.0%	
7	「減メディアデー」の取り組みを意識して、家庭で取り組む努力をしている。	60.3%	57.8%	
8	以下のメディアについて、時間、使い方、トラブル等の心配をすることがある。			
	(ア)携帯電話、スマートフォン等によるメール等、時間、使い方、トラブル等の心配をすることがある。	40.7%	50.1%	↑
	(イ)パソコンやゲーム機によるインターネット等、時間、使い方、トラブル等の心配をすることがある。	32.2%	32.9%	
	(ウ)ゲームやテレビ、ビデオ、DVD等、時間、使い方、トラブル等の心配をすることがある。	45.8%	32.8%	↓ ↓
	(エ)ブログ、ツイッター、ライン等、時間、使い方、トラブル等の心配をすることがある。	33.9%	40.6%	↑
	(オ)その他(具体的に youtube視聴			
9	子どもの学習や生活について、子どもとよく話をしている。	82.5%	73.4%	↓
10	子どもの話をよく聞いて、ほめたり叱ったりしている。	84.2%	79.4%	↓

「学校HPはみている」の肯定的数値が徐々に上がってきている。「学校だより、学級だより等、学校からの配布物を読んでいる」は、学年によって差がある。また「減メディアデー」の取り組みについては、色々な機会を見つけ情報発信が必要である。

Ⅳ 学校教育をさらにより良くしていくために、たくさんの意見をいただきました。(内容の要点)

①学校の雰囲気について

* 教員も生徒もよくまとまって明るい雰囲気が感じられる。

②地域との関わりについて

* ふる里まつりの取り組みが実を結んできた。

③家庭との連携について

* 家庭での会話や親も勉強をみるなどをするのが大切である。
* 学校との情報共有と「ほめる」「叱る」のけじめが重要である。
* 先生方との対話の機会がもっと必要である。(担任以外の先生とも)

④保小中連携について

* やや停滞、希薄になっている気がする。

⑤学校環境整備について

* 更衣室の整備が必要ではないか。
* バス時間に合わせた解錠をしてほしい。(朝、生徒玄関が開いていないことがある)
* 通学路の除雪を早くしてほしい。
* バス路線の検討をしてほしい。多里線の利用人数が多すぎる。

⑥その他について

* 先生方も言葉遣いなど気をつけてほしい。

ご意見に対して

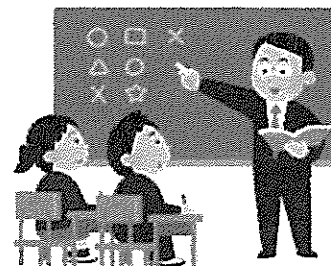
- ①② 生徒も教員も落ち着いて、前向きに取り組んでいると感じています。
生徒数の減少に伴って、生徒と教員でしっかり練りながら行事などの目的・目標・方針を見直して取り組んできた成果が少しずつ表れてきているのではないかと思います。
- ③ 学校と家庭が、エンジン(生徒)の性能を十分に引き出すタイヤ(両輪)です。同じ方向で、同じ回転で進みたいと思います。
- ④ 小学校から中学校に入る際の学習指導、生徒指導については、連携を密にとっていきます。ねらいやポイントをもっと分かりやすく伝えることが必要だと感じています。
- ⑤ 環境整備やバスについては、関係機関とともに検討していきます。
- ⑥ 信頼関係の基礎になることです。職員間でも共有していきたいです。

『生き抜く力』の育成に向けた対策（取り組み）

日南中学校の教育目標『ふるさとに学び、夢に向かい、生き生きと輝く生徒の育成』の達成に向けて、「学習活動」・「育心活動」・「健康安全活動」の視点から、以下のような取り組みを継続的に進めています。

生徒たちの日々の状況や今年度及び過去の調査等から分析される日南中の課題などを参考にしながら、小学校とも協働して継続的に取り組んでいるものもあります。

（全国学力・学習状況調査の分析結果より継続的に取り組んでいます。）



【学習活動】

（１）授業改善

次のような授業をめざし、小学校とも連携を図りながら研修を行い、生徒にとってわかりやすい（「わかる」）実感の持てる授業の工夫・改善に取り組んでいます。

- 分かったことを友だちに説明することで理解をさらに深めることができる授業
- 自分の考えを説明しきるような発表を重視した授業
- ＩＣＴ機器を利用して興味・関心を喚起し、理解を一層図る授業
- 誰にとってもわかりやすい授業（目標の明確化、予定の提示、板書の工夫等）
- 学習事項がより定着する授業（小テスト、前時の振り返り、宿題等）
- ペアリング（関わり合いながら隣同士で聴き合える学習）を基盤にした授業

（２）学習習慣の定着・学習内容の充実

家庭学習の習慣の未定着、家庭学習の時間の不足が大きな課題です。毎日の積み重ねや家庭での学習を明確に（何をしたらよいのかをはっきりさせる）するために具体的に取り組んでいます。

- Ｐ．Ｔ（パワーアップタイム）の充実 １５：３０～１６：００
５教科に限定して、毎日３０分間、教師が作成した課題（定期テストに出題される内容）に取り組んでいます。日々の学習の積み重ねの習慣化と効果の実感（定期テストでのポイントを確認）をねらいとしています。内容をさらに洗練させています。
- Ｌ．Ｐ．Ｔ（ロングパワーアップタイム）の充実 １５：３０～１６：２０
定期テスト前の部活動停止の際に、Ｐ．Ｔの時間を延長して取り組みます。各自でテスト勉強の計画を立て、教師への質問や教え合いなどをしながら進めます。
- アフタースクール １６：３０～１８：００
自学自習を原則としますが、定期テスト前、または３年生は放課後に残って学習を続けるように勧めています。自宅では集中力に欠ける、友達に教えてもらいたい、先生に質問したいなど、学習意欲の実践化、学習効果の向上を図っています。

○テスト勉強計画の作成（計画・実行・修正）

テスト勉強で自分がすべき教科、内容、時間、方法を自分で立てます。P、TやL、P、Tの日程を考えたり、テスト範囲にピンポイントで対応する課題を示すことにより、一人ひとりがより明確で、具体的な学習を進めることができます。

○家庭学習ががんばるウィークの設定

定期テスト前などの一定期間を「がんばるウィーク」と設定し、集中的に家庭学習をすすめる啓発活動を行っています。家庭や地域でも積極的にご協力を頂きたい取り組みです。

【育心活動】・【ともいき科】

（1）仲間づくり

各学年単学級となる現状の中で、小学校からつながる人間関係・仲間関係を順調に、円滑に、上手に活かせる仲間づくりを進めています。

○学校行事の活用した企画力・運営力

体育祭、文化祭を通して生徒の自主性、積極性を養います。その中で縦割りのつながりや学級・学年のつながりを体感し、よりよい仲間づくりを進めます。

○発表の場で活かすプレゼンテーション力・コラボレーション力

あらゆる機会をとらえて、自分の考えや気持ちを多くの人の前で話すことができる力、表現力の育成に努めます。日常生活の中でも臆せずに話したり、接したりできることが自信にもつながると感じています。

（2）自尊感情・自己効力感・自己肯定感の高揚

「自分にはよいところがある」「他者から認められていると思う」という思いが少しずつ向上しつつあります。さまざまな場面を通して、自信を持たせたり、喜びを感じさせたりすることが、よい成果・効果につながると考えています。



【健康安全活動】

（1）規則正しい生活習慣の育成

生活習慣と学力には相関関係があります。食事、睡眠、余暇の過ごし方、学校生活の過ごし方など、学校においても望ましい生活習慣の徹底について引き続き取り組んでいきます。

○生活習慣がっちりWEEK・生活習慣アンケート

学習や良好な人間関係の基礎となる生活習慣をしっかりと身につけるために、朝食や睡眠について、自分の生活を点検します。

○教育相談活動

一人ひとりの生徒の実態把握に努め、信頼関係を築いた上で、生徒の悩みや困り感に寄り添った支援が大切だと考えています。